

ブロックス (市販ゲーム)

【 視空間認知力 】

難易度 ★★☆☆

楽しさ 😊😊😐



【 概要 】

- ・様々な形のブロックをできるだけ多く置くパズルゲーム
- ・各人が交互に、ブロックを1個置き、これ以上置けなくなった方から終了
- ・空いているスペースと、ブロックの形・大きさを考えます。
- ・どの順番で何を置くかなど、計画性も鍛えます。

準備

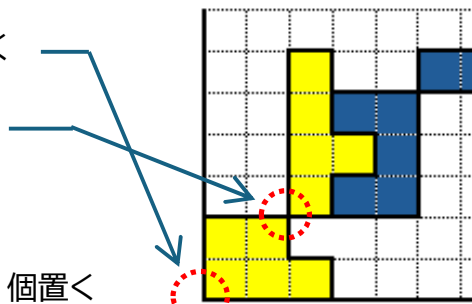
- ・ ブロックス(市販ゲーム:Blokus)を用意 【2～4人用】
- ・ 自分の使う色を決め、同色のブロック(21種)を手元に置く。
- ・ 最初にブロックを置く「一番手」を決める。以降は左隣へ順番が移る。

「ブロック」の大きさの種類数

【5マス】×12、【4マス】×5、【3マス】×2、【2マス】×1、【1マス】×1

方法

- ① ブロックの配置ルールを説明
 - ・最初のブロックは、ボードの角に置く
 - ・自分(同色)のブロック同士は、「角」だけが接するように置く
 - ・相手(他色)のブロックとは、「面」で繋がり、隣接しても良い
- ② ゲーム開始
 - ・各人交互に、角を繋げてブロックを1個置く(2人で遊ぶ場合は、1人2色を担当する)
 - ・自分のブロックを置くことが、出来なくなった方から終了
- ③ 全員がこれ以上、ブロックを置けなくなったら、各自の手元に残ったブロックを比較し、合せた大きさ(面積)が小さい方を勝ちとする。



チャレンジプログラム

21種類すべてのブロックを置けるように考えると、しっかりと頭を使えます。

